

毎日新聞創刊 140 年記念

「いわさきちひろ展～母のまなざし・子どもたちへのメッセージ～」

開催要項

ちひろの子どもたちが、14年ぶりに神戸にやってきます——。

絵本画家のいわさきちひろ(1918～74年)は、「子ども」を生涯のテーマとして創作活動を続け、9000点以上に及ぶ作品を残しています。絵本や雑誌、育児書、教科書などの表紙や挿絵にも登場し、誰もが一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。

「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」。ちひろの作品に込められている願いです。

東日本大震災から1年となる2012年3月。豊かな心のひろがりを感じさせる「ちひろの世界」が、さわやかな春風となって人々に安らぎと希望を与えるとともに、“ちひろのメッセージ”が、より多くの人たちに届き、次の世代へと語り継がれることを願っています。

本展は「母のまなざし・子どもたちへのメッセージ」をテーマに、月刊「毎日夫人」(毎日新聞社)の表紙を飾った作品をはじめ、四季折々の子どもたちを描いた水彩やスケッチなど代表作約130点のほか、自宅に設けられたアトリエを復元し、愛用の品々を展示。ちひろ芸術の魅力余すところなく紹介します。

【会期】 2012年3月31日(土)～5月6日(日)

月曜休館(4月30日[月]は開館、5月1日[火]は休館)

10時～18時(入場は17時半まで)

【会場】 兵庫県立美術館ギャラリー棟3階(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1[HAT神戸内])

【主催】 毎日新聞社、神戸新聞社、ちひろ美術館

【共催】 兵庫県立美術館

【後援】 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、サンテレビジョン、ラジオ関西

【観覧料】 一般 1,000(800)円 大学生 800(600)円 高校生・65歳以上 500(400)円

※中学生以下無料。カッコ内は前売り・20人以上の団体料金

【前売券情報】 チケットぴあ(Pコード:764-903)、ローソン(Lコード:57933)、CNプレイガイド、イープラス、ファミリーマート、セブン-イレブン、サークルKサンクスほか主要プレイガイドで3月30日まで発売中

【展覧会に関する一般の方の問い合わせ先】

毎日新聞社事業部 TEL:06-6346-8391 FAX:06-6346-8372/兵庫県立美術館 TEL:078-262-0901

【マスコミ問い合わせ先】

「いわさきちひろ展」広報事務局(TMオフィス内)担当:馬場・密城

TEL:06-6231-4426 FAX:06-6231-4440 MAIL:chihiro@tm-office.co.jp

【関連イベント】

- 記念講演会: 4月1日(日) 「母、ちひろの思い 今、子どもたちへ伝えたいこと」
松本猛(いわさきちひろ長男・ちひろ美術館常任顧問)
- 4月8日(日) 「思いをつなぐ」
永田萌(イラストレーター・絵本作家)

<時間> いずれも午後2時～午後3時30分

<会場> 兵庫県立美術館ミュージアムホール

<定員> 250人 (聴講無料。ただし、本展覧会のチケットが必要)

- ギャラリートーク：3月31日(土)午後2時～ 松方路子(安曇野ちひろ美術館学芸員)
*展示室内で開催。事前申し込み不要。当日の入場者に限る。

【子ども向けイベント】

- おはなし会：4月15日(日)、4月21日(土) ボランティアグループ「しずくの会」
小学校低学年以下のお子さんを対象にしたおはなしと絵本の読み聞かせ会。参加無料。
事前申し込み不要。
<時間> 午後2時～約45分
<会場> 兵庫県立美術館アトリエ1
<定員> お子さんとその保護者合わせて30名

【いわさきちひろ略歴】

- 1918年 福井県武生市に生まれる。本名・岩崎知弘。
- 1933年(14歳) 東京・目黒区目黒に移る。岡田三郎助に師事。デッサン、油絵の勉強を始める。
- 1937年(18歳) 小田周洋について藤原行成流の書を習い始める。
- 1939年(20歳) 婿養子を迎え結婚。夫の勤務地である中国・大連に渡る。夫の自殺により翌年帰国。
- 1942年(23歳) 中谷泰に師事、再び油絵を描き始める。
- 1945年(26歳) 第二次世界大戦により母の実家(長野県松本市)に疎開。終戦を迎える。
両親が北安曇野郡松川村(現・安曇野ちひろ美術館所在地)で開拓を始める。
- 1946年(27歳) 長野県松本市で日本共産党に入党。上京して人民新聞の記者となり、自らカットも手がける。日本共産党宣伝部・芸術学校に入る。赤松俊子(丸木俊)に師事。この頃、デッサン会などで多くの人物デッサンを描く。
- 1947年(28歳) 前衛美術会創立に参加。日本美術会、日本童画会のメンバーとなる。
- 1949年(30歳) 紙芝居「お母さんの話」(教育紙芝居研究会)より出版、翌年文部大臣賞受賞。
- 1950年(31歳) 松本善明と結婚。翌年、長男・猛誕生。
- 1952年(33歳) 東京・練馬区下石神井(現・ちひろ美術館・東京所在地)に家建て、以後22年間この地で制作活動を行う。
- 1956年(37歳) 絵雑誌等に発表した作品を対象に、小学館児童文化賞受賞。絵本の仕事として初めて「ひとりのできるよ」(福音館書店)を描く。
- 1958年(39歳) 紙芝居「お月さまいくつ」(童心社)を描き、翌年厚生大臣賞受賞。
- 1960年(41歳) 「あいうえおのほん」(童心社)を描き、翌年サンケイ児童出版文化賞受賞。
- 1971年(51歳) 「ことりのくるひ」(至光社)を描き、73年にポローニャ国際児童図書展にてグラフィック賞受賞。
- 1974年(55歳) 原発性肝ガンのため死去。翌年、未完の遺作「赤い蠟燭と人魚」(童心社)を刊行。
- 1977年 いわさきちひろ絵本美術館(現・ちひろ美術館・東京)開館。
- 1997年 安曇野ちひろ美術館開館。

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

「いわさきちひろ展」

2012年3月31日(土)～5月6日(日)／兵庫県立美術館ギャラリー

本展覧会の広報写真をデータでご用意しております。FAXもしくはメール添付にてお申し込み下さい。

【FAXでお申し込みの場合】

FAX番号：06-6231-4440

【メールでお申し込みの場合】

chihiro@tm-office.co.jp

■貴社についてお知らせください

○媒体名

○貴社名

○ご担当者名

様

○所属部署

○ご住所〒

○E-mail

○TEL番号

○FAX番号

○ご掲載・放映の予定日が決まっておりますお知らせください

年 月 日

■読者プレゼントのご希望(本展のご招待券10組20名様まで)

希望する 組 名様 希望しない

※ご希望される画像の番号に○印をお付け下さい。なおデータは全てJPGとなります。

【1】 チューリップと子ども(1970年頃)



【2】 はなぐるま(1967年)



【3】 五つぶのえんどう豆(1972年)



【4】 立てひざの少年(1970年)



【5】 ゆびきりをする子ども(1966年)



【6】 麦わら帽子に蟹をのせた少年(1971年)



【7】 赤い毛糸帽の女の子(1972年)



【8】 はないちもんめ(1958年)



【9】 展覧会ロゴマーク

いわさきちひろ展
母のまなざし・子どもたちへのメッセージ

<作品画像の取扱について>

- 作品画像の使用は本展をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。(期間：2012年5月6日まで)
- 本申込書からのスキャニング、文字のせは原則として禁止となっております。
- ご掲載いただいた場合は、お手数ですが、掲載紙(誌)または放送されたDVDを広報事務局までお送りいただければ幸いです。
- ご不明点等は、下記広報事務局までお問い合わせ下さい。

報道関係の方からのお問い合わせ先
「いわさきちひろ展」広報事務局(TMオフィス内)担当：馬場/密城
TEL:06-6231-4426 FAX:06-6231-4440
メール：chihiro@tm-office.co.jp